

平成 20 年 11 月 27 日

WHO-FIC インド会議について（暫定版）

主 催： WHO、WHO-FIC インド協力センター共催
開催期間： 平成 20 年 10 月 25 日(土)～11 月 5 日(水)
会 場： インド国デリー市マネッサー
ヘリテージ・ビレッジ
参 加 者： WHO、協力センター、厚生、統計関係部局、オブザーバー等約 100 名が参加

主な議題について：

(1) アジア太平洋地域における公衆衛生情報化の現状に関する報告

- * オーストラリア、カナダ、フィンランド、フランス、インドネシア、イタリア、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、韓国、スリランカ、タイ、英国、米国、ベトナム

(2) 各種委員会報告

● 諮問委員会(Council)

- * 新規研究協力センター登録国の紹介
- * 次回WHO-FIC 諮問会議、RSG会議
2009年4月20日～27日 於：韓国(ソウル)
- * 次年度WHO-FIC年次会議
2009年10月10日～18日 於：韓国(ソウル)
- * 各レファレンスグループの共同議長選挙の報告
- * ICNP(国際看護分類)を関連分類として正式に承認

● 普及委員会(Implementation Committee(IC))

- * 各国の普及状況に関するデータベース設置について報告、アップデートの依頼
- * ICFの地域ネットワークについて、フランス語圏、南米、ヨーロッパからの報告、アジア・パシフィック地域でのネットワーク形成の可能性の検討

- 分類改正改訂委員会(Updating and Revision Committee (URC))
 - * ICD の改正について 202 議題について審議;
 - ・ 133 提案受け入れ
 - ・ 5 提案持ち越し
 - ・ 46 提案削除又は、取り下げ
 - ・ 18 提案 ICD-11 の TAG へ
 - ・ 12 提案情報提供
 - * ICD の大改正(Major update)については、ICD-11 の改訂が実行される 2015 年までに、2010 年に加えて、2013 年、2016 年(適用の遅延を見越して)の 3 回実施。

- 教育委員会(Education Committee(EC))
 - * 疾病コーディング認定プログラム作成作業の継続
 - * 生活機能分類(ICF)教育カリキュラム第 1 版の報告

- 電子媒体委員会(Electronic Tools Committee(ETC))
 - * 次世代死亡統計システム(IRIS)の開発報告
 - * ICD-11 改訂作業ツール(HIKI)の開発報告

- 国際分類ファミリー拡張委員会(Family Development Committee(FDC))
 - * 医療行為の国際分類(ICHI)の開発停止の検討
 - * 医療サービスの分類、各国の状況について議論

- 死因分類改正グループ(Mortality Reference Group (MRG))
 - * 死因分類に関する 45 議題を議論;
 - ・ 術後合併症の選択に関するルール
 - ・ 多発外傷の主要傷病選択手順
 - ・ 死亡統計での活用に ICD が必要とされる機能(ユースケース)に関する報告等

- 疾病分類グループ(Morbidity Reference Group (MbRG))
 - * 主要病態の選択手順の検討
 - * 改訂運営会議の内科部会への意見書の提出

- ターミノロジーグループ(Terminology Reference Group (TRG))
 - * ICD-10 と SNOMED-CT とのマッピング作業報告
 - * ICD 改訂のための疾病モデルの検討

- 生活機能分類グループ(Functioning and Disability Reference Group (FDRG))
(コーディングルール、改正、ICD との調和、評価と活用、教育、環境因子、ターミノロジーに関する 8 つのプロジェクトチームにより構成)
 - * ICF-CY 追加項目による改正作業の試行開始
 - * ICF 教育カリキュラム第1版の報告
 - * コーディングガイドラインの作成作業に関する報告

- 改訂の動向について
 - * 筋・骨格系 TAG、皮膚 TAG の設置の了解
 - * シュート先生より、インフォメーションモデルの最新版に関する報告
 - * 菅野先生より、インフォメーションモデルの問題点に関する報告
 - * 2009 年(平成 21 年)4 月 7 日(火)から 9 日(木)の 3 日間、日本においてWHO 内科TAG国際会議を開催

WHO-FIC インド会議における ICF の動向

2008 年 10 月 25 日から 31 日の間、生活機能分類グループ (FDRG) が開催された。FDRG は以下の 8 つの課題に基づいて検討グループが組織されている。

- ① コーディング・ルールやガイドライン
ICF の個々の症例への利用、集団への利用等のシナリオについてガイドラインを作成するための考え方を整理した一覧表を作成。2009 年の WHO-FIC 年次総会までに最終案の完成を目指す。
- ② ICF 改正
ICF 改正用のプラットフォームをインターネットに作成。今後は FDRG 及び URC (分類改正改訂委員会) の投票を含む ICF 改正の管理プロセスを確立。まず ICF の項目のうち、ICF-CY で変更されたものについて改正を提案。
- ③ ICD との関係
ICD で使用される用語と整合性を図るために対話を継続。
- ④ ICF による評価や統計的活用
一般的に利用可能な ICF のコアセット (parsimonious set) の開発、評価点と既存の測定値との関係性、評価点から算出できる統合指標の開発等、に関する研究発表や経過報告。
- ⑤ ICF の教育
ICF 教育カリキュラム第 1 版が完成。これを元にインターネットに ICF 基礎研修コースを作成中。活動と参加の利用のされ方について調査を開始。
- ⑥ 倫理と人権
2009 年 4 月イタリアで International Conference on Disability, Justice and Long-term Care を開催。
- ⑦ 環境因子
環境因子の評価や不足している項目 (例: ICF-CY) に関する文書を作成中。ICD や ISO9999 との調和を議論する枠組みを検討。
- ⑧ ICF におけるターミノロジーとオントロジー
ICF の分類項目の定義を用いた情報モデルの作成、オントロジーの開発を検討。

次回 FDRG : 検討中

「生活機能分類—小児青少年版（仮称）（ICF—CY）
の日本語版作成のための検討会」での検討状況について

【これまでの取り組み】

第1回生活機能分類—小児青少年版（仮称）（ICF—CY）の
日本語版作成のための検討会

平成20年6月26日（木）
10:00～12:00
経済産業省 別館1036号室

【議事】

1. 国際生活機能分類—小児青少年版（仮称）（ICF—CY）の動向について
 2. 今後の運営について
 3. その他
- ※ 各構成員から提出された意見をもとに、適切な日本語訳について議論。

第2回生活機能分類—小児青少年版（仮称）（ICF—CY）の
日本語版作成のための検討会

平成20年12月10日（水）
10:00～12:00
5号館 専用第23会議室

【議題】

1. 国際生活機能分類—小児青少年版（仮称）（ICF—CY）の
日本語訳について
 2. 国際生活機能分類の変更すべき項目名について
 3. その他
- ※ 各構成員からの意見提出を踏まえ、日本語訳（事務局案）（4回目）
を提示し議論。 → 了承を得る。
- ※ ICF本体の修正が必要と思われる箇所については、ICF専門委員会に
報告すると共に、議論していただくこととする。

【今後の予定】

平成21年1月～2月 関係省庁及び関係団体に意見照会（最終調整）

平成21年3月13日 第6回社会保障審議会統計分科会「生活機能分類専門委員会」にて最終訳
を報告（予定）

平成21年3月下旬 刊行（予定）